

## 引率教員対象いじめ問題を考えるワークショップ

義務教育課

生徒たちのワークショップと並行して、引率教員による「いじめ問題を考えるワークショップ」を行いました。各中学校から参加した生徒指導や生徒会を担当する教員が、各学校の課題や取組について情報交換し合いながら、いじめを生まない学校づくりについて真剣に討論しました。

### 1 アイスブレイク名刺交換（+自校のアピールポイント）

生徒たちと同様に、まずは自己紹介です。自校のアピールポイントを話しながら名刺交換しました。

### 2 ワークショップ

ワークショップの流れは次のようなものです。

- (1) 自校のいじめ防止に係る取組や自校の課題について付箋に書き出す。
- (2) 書き出した付箋をマトリックス表に貼り付けながら、いじめ問題についての現状を話し合う。
- (3) 「いじめの未然防止」「いじめの早期発見・早期対応」の観点から、出された意見の有効性を話し合い、類型化していく。
- (4) いじめを生まない学校づくり（いじめの未然防止）について、グループとして最も有効だと思える取組を選び、その理由を示す。
- (5) 発表者と聞き手に分かれ、ワールドカフェ方式で他のグループとそれぞれの考えを共有する。



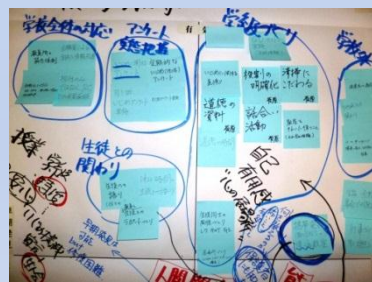
自分が取り組んできたことや自校で取り組んでいるいじめ防止の取組を青色の付箋に、自校の課題を赤色の付箋に、書き出しました。



書き出した付箋を横軸に「未然防止」と「早期発見・早期対応」、縦軸に有効性を示したマトリックス表に貼り付けていきました。



付箋に書かれた意見を類型化し、いじめを生まない学校をつくっていくためには、どんな取組が有効か、話し合いました。



いじめを未然に防止するための取組をグループごとにまとめました。



他のグループの考えを聞き、自校で取り組む実践について考えました。

